

今年度も残すところあと数日です。3月末において当出張所管内では5箇所の工事と緊急作業が完成する予定です。台風16号豪雨による洪水や積雪等の影響により工程の遅れが発生しましたが、各現場の努力の甲斐があって無事年度末を迎えることができそうです。

緊急時の体制強化に向けて

大規模土砂災害等が発生するなどの緊急時の際には、当事務所は国土交通省が実施する応急対策の現地窓口・拠点として、機能を果たす必要があります。そのために、事務所機能や監視体制の強化に向けた整備を行いました。

先ず一つ目は、広域災害時には停電にすることが想定され、通信施設等の運用ができなくなります。そのために、非常用電源を保有していますが、経年劣化や現在保有する設備を運用するためには容量が不足するため、更新を行いました。これにより、確実に緊急時の拠点として機能します。【写真①】

そして二つ目は、大規模土砂災害等が発生した場合まずは現状把握と情報共有が必要です。現地の映像をリアルに収集・配信するために、持ち運び式の高機能カメラを導入しました。このカメラは、夜間でも星の明かり程度で映像が撮影でき、24時間の監視に活躍します。【写真②】



更新した発電機 (出力:125kva)



持ち運び式カメラ

地域連携マニュアルが完成

当事務所管内で大規模土砂災害発生時に、関係機関が実施すべき対応をお互いが十分把握し、早期に連携を図りながら効果的・効率的に対応していくために、国土交通省、岐阜県、本巣市、揖斐川町の各機関が連携して対応するための基本事項をまとめた「地域連携マニュアル」を作成しました。

今後は、このマニュアルを基に一層の連携強化をはかっていきます。

[記者発表資料はココをクリック](#) (事務所HPへ)

鋼製砂防堰堤施工現場見学会を開催

鋼製透過型堰堤のCBBO型は、当事務所管内では外津汲内谷第1砂防堰堤で初めて採用され、3月13日(水)に所内勉強会として、同堰堤を施工する(株)所組の協力により、現場見学会を開催しました。

同型式については、昨年5月に座学で機能や施工方法を学んでおり、今回の研修会で実際の組み立ての様子を見学しました。



鋼製堰堤組立作業の様子

設計図面が約200枚 =宇津志谷=

本巣市根尾宇津志(ねおうし)地先で昨年2月より工事を行ってきた宇津志谷第1砂防堰堤(施工:杉山建設(株))は、堰堤高13.0mの鋼製透過型砂防堰堤の工事が完成し、残るは管理用道路などの付帯工事のみになりました。

本工事は、多岐にわたる工種が狭い範囲内で行われ、各工種間の施工時期の調整など大変苦労が多い工事でした。



台風16号で被害 =内谷=

揖斐川町外津汲(とつくみ)地先で昨年3月より工事を行ってきた外津汲津汲内谷(うちたに)第1砂防堰堤工事(施工:(株)所組)は、堰堤高11.0mの鋼製透過型砂防堰堤の施工が進み、あと一部の施工を残すのみとなりました。

本工事は昨年9月に台風16号による豪雨の影響で工事現場も被害を受けたり、複雑な地質により掘削がままならないなど、何度も工程の見直しを迫られた工事でした。



監理技術者
杉山建設(株)
中島 義裕さん

平成23年3月より現場に着工して、1年が経ちようやく完成を迎えることが出来そうです。12月初旬と1月下旬には、降雪に見舞われ除雪作業の日々が続き、なかなか本施工をすることが出来ず、工程に大きな影響を及ぼしましたが、元請け、下請け業者が一丸となり無事故無災害で工事が終わったことに感謝したいと思います。



監理技術者
(株)所組
守田 康司さん

様々な要因で工事の一部一時中止が何度もあり、工程管理が大変な現場でした。しかし、当現場の目標であった地域の方々から「所組が施工してよかった」という言葉や、久瀬小学校の生徒さん達による現場見学会後の感想の中の「ありがとうございました」という言葉などをいただき、地域の方々から砂防堰堤を通じて工事の必要性や理解をいただけたと思います。

断層破碎帯が影響 =大蔵谷=

揖斐川町椋原(かしはら)地先で昨年7月より工事を行ってきた大蔵谷(おぞうだに)第1砂防堰堤道路工事(施工:㈱久保田工務店)は、付け替え林道の約300mの施工を行いました。工事箇所には「谷汲断層」と思われる断層破碎帯が現れ、地質を確認しながら補強工を施工する工事でした。

来年度以降も引き続き林道の付け替え工事や砂防堰堤本体工事を行います。



急峻且つ狭小な地形での施工であったため、『墮落事故防止』を最大の目標とし、安全管理に留意して参りました。

また、バックホウMGシステムを導入した事により作業や監理業務の省力化になりましたが、山間部においてMGを導入する際の課題も浮き彫りになり、今後の技術改善と共にMGシステムの導入が益々推進される事を期待します。



監理技術者
㈱久保田工務店
久保田 智也さん

1m越えの積雪に苦戦 =ドン谷=

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかも)地先で昨年8月より工事を行ってきたドン谷溪流保全工事(施工:西建産業㈱)は、溪流保全工 延長約70mの施工を行いました。工事箇所は12月頃から根雪が積もり、最深で1m以上の積雪をほぼ毎日除雪しながらの作業となりました。

来年度も引き続き溪流保全工を実施し、早期完成を目指します。



現場代理人
西建産業㈱
林 大助さん

今年は積雪量は例年ほどではありませんでしたが、降雪日の多さに苦労しました。それにより期限内完成が危ぶまれましたが、地元の方々・下請業者及び関係者皆様の全面的な協力により期限内完成を達成する事が出来ました。御協力頂いた皆様にこの場を借りて御礼を申し上げます。

砂防ソイル工法を採用 =敷原谷=

本巢市根尾長嶺(ねおながみね)地先で昨年9月より工事を行ってきた敷原谷(しきはらだに)第1砂防堰堤(施工:田中建設工業㈱)は、砂防堰堤の前庭保護工や管理用道路の工事を行い、残るは砂防堰堤本体の一部と付け替え水路などの付帯工事を残すのみとなりました。

本工事では砂防ソイル工法により土留工等の施工を行いました。降雪や時雨などの影響により、母材の水分管理に大変気を使う工事でした。



現場代理人
田中建設工業㈱
所 一巳さん

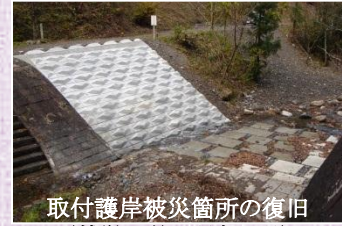
現場出入口付近には数軒の民家が有り、工事車両によって土ほこりが発生しない様に、タイヤ洗浄の良否が目視できるように、人による高圧水洗浄を行い、路面汚損を防止しました。

また、現場においては、本堤左岸下流の山留工の補強土壁が多段で延長が短く、超小型バックホウの使用など、手間取りながらも無事工事を完成する事が出来そうです。

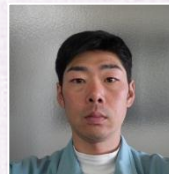
災害復旧に活躍 =緊急作業=

当出張所が管理する砂防施設等が、集中豪雨などによって被害を受けたときに応急復旧等を行ってきたのが揖斐川砂防出張所管内緊急作業(施工:揖斐昭建設㈱)です。

昨年の台風16号には、各地で土砂崩れや出水による被害を受けており、緊急作業にて応急復旧等を行いました。当出張所の管内は約800km²以上あり、広い管内をあっちへ行ったり、こっちへ行ったりの大活躍でした。



取付護岸被災箇所の復旧
(鷲巣谷第1砂防堰堤)



現場代理人
揖斐昭建設㈱
樋口 晃彦さん

本工事を無事完了するにあたり、作業をさせていただいた近隣住民の皆様、ご協力ありがとうございました。

本工事は、揖斐地区・根尾地区と広範囲にわたり行われる作業です。個々の作業期間は短く、比較的軽微な作業ですが、現場代理人・作業員一同全力で工事を進めることができました。何より、無事故・無災害で工事を終えることができました。

里山探検隊 隊員募集中

揖斐川上流の魅力を一緒に探しませんか

募集のお知らせはココをクリック



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局

越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所

〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3

Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626

E-mail: ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp